

## 「VRで学ぶ舗装工学」正誤表

ページ	位置	誤表記	正表記	摘要
5	QRコード説明吹き出し内	VR-CLOUD	VR-Cloud	正誤逆の可能性あり
6	目次第2章4	舗装有すべき性能指標	舗装の有すべき性能指標	文字抜け
7	目次	5 加熱アスファルト混合物の <b>配合設計</b>	5 加熱アスファルト混合物の <b>施工</b>	
9	目次 第1章	2 破損の <b>種類</b>	2 破損の <b>種別</b>	
12	本文14行目	<b>琉拍</b> の道	<b>琥珀</b> の道	
	図1・2 タイトル	・ ・ <b>舗</b> 石道路	・ ・ <b>舗</b> 石道路	
14	左4～5行目	テル <b>ホ</b> ード	テル <b>フ</b> ォード	2箇所
	右1行目	管理 <b>個</b> 巢	管理 <b>コ</b> スト	
	図1・6 タイトル	テル <b>ホ</b> ード工法	テル <b>フ</b> ォード工法	
	3 我が国の舗装 右 6行目	また、 <b>1975</b>	また、 <b>1575</b>	
15	右1行目	マカダム式道路 <b>歩道</b>	マカダム式道路 <b>舗装</b>	
18	表1・1 タイトル	疲労破壊 <b>論</b> 数の	疲労破壊 <b>輪</b> 数の	
25	図中 計算式の表示	式1・1 式1・2 式1・3	式1-1 式1-2 式1-3	
29	表中 分類最下段	沿道および <b>市</b> 域社会費用	沿道および <b>地</b> 域社会費用	
	下から4行目	温暖 <b>暖</b> 化	温暖化	
34	表中タイトル右側	<b>区</b> 間のCBR	<b>設</b> 計CBR	
35	左9行目	式 <b>16</b> で求めた	式 <b>1-6</b> で求めた	
	左10行目	式 <b>11～式13</b> で求めた	式 <b>1-1～式1-3</b> で求めた	P25の表中式
	右3行目	式 <b>2・17</b>	表 <b>1・12</b>	
36	下から2行目	表 <b>2・17</b>	表 <b>1・12</b>	
52	表1・22、表1・23中	1.95g/ <b>cm3</b>	1.95g/ <b>cm<sup>3</sup></b>	
56	左下から2行目	生石灰の <b>硝</b> 化	生石灰の <b>消</b> 化	
	左最下段	<b>紛</b> 状	粉状	
	右5行目	f)混合 <b>修</b> 了後、	f)混合 <b>終</b> 了後、	
	右13行目	<b>登</b> 場抑制層	<b>凍</b> 上抑制層	
57	右2) 下層路盤工法 ii)	ii) セメント、石灰・・	ii) <b>安定処理工法</b> ; セメント、石灰・・	タイトル抜け
58	左下から3行目	不要なスペースがある		p70、73、143
	右14・18行目	不要なスペースがある		
62	図中⑥説明文	安 <b>経</b> 度	安 <b>定</b> 度	
65	右12行目(文字抜け)	もろくなり <b>に</b> ・く、	もろくなり <b>に</b> く、	文字抜け
70	(2)の本文13行目	るが締固が困難に	るが締固 <b>め</b> が困難に	文字抜け
	同14行目	らないようする必要	らないよう <b>に</b> する必要	文字抜け
	左本文14行目～15行目	段落間違い	(文章つながる)	
	左下から7行目	指示 <b>が</b> ある、無しに	指示 <b>が</b> 有る、無しに	
73	図1・46左上図中文	高い <b>業</b> へと	高い <b>方</b> へと	
76	表1・26中 構造の概要	ダウエル <b>パー</b>	ダウエル <b>バー</b>	
	表1・26中 工 法	スリッ <b>パ</b> フォームペー <b>パ</b>	スリッ <b>プ</b> フォームペー <b>バ</b>	

	表1・26中 養生期間	配合郷土	配合強度	
82	右最下段	緻密で平たん	緻密で平たん	
83	右7行目	長さ1m程度	長さ1m程度	
87	左12行目	ぶらすと	ブラスト	
	左16行目	m床版	鋼床版	
	左下から12行目	舗装系にいずれかを用いる。	舗装系のいずれかを用いる。	
	左下から4・5行目	発声	発生	
	右下から10行目	快適な歩行性、歩行性を確保	快適な歩行性を確保	重複文字削除
91	右下から11行目	舗装である※※※。	舗装である。	※削除
92	右9行目	予防的維持のー工法である。	予防的維持の1工法である。	”いち”と読めれば修正不要
94	左下から9行目	表層、基層	表層・基層	
96	左本文12行目	CO2	CO <sub>2</sub>	
98	左上から3～4行目	品質は表-12・1に示す基準値	品質は <a href="http://pavenet.jp/shindan/hyou.pdf">http://pavenet.jp/shindan/hyou.pdf</a> に示す基準値(付録資料抜け)	
	左下から12行目	新アスファルトは表1・17に	新アスファルトは付録表3に	
	右9～10行目	配合率は10%程度とし	配合率は10%以上とし	
100	左下から14～13行目	アス・安定処理	アスファルト安定処理	文字抜け
	左下から8～7行目	瀝青材量などの安定材量	瀝青材料などの安定材料	
	左下から3行目	・定処理する方式既設アスファルト	・定処理する方式;既設アスファルト	タイトルと;で区分
101	図1・65タイトル	既設路盤のみ・安定処理・方式	既設路盤のみを安定処する理方式	文字抜け
102	左12行目	最大厚さは30cnm	最大厚さ30cm	
103	左図中	リミキサー リペーパー	リミキサ リペーバ	
	右1行目	リペーブ	リペーブ	
104	左9行目	目し調査	目視調査	
	14行目	使用材料に選定などに	使用材料の選定などに	
	19行目	リペーブ	リペーブ	
105	左下から8行目	路面ヒーター	路面ヒータ	
	左下から3～2行目	もしくは	もしくは	
	右8行目	リミキサーは、…ほぐすとに	リミキサは、…ほぐすとともに	
106	4行目	機械編成と機械編成は図1・56	機械編成は図1・54	
107	左本文2行目	不可欠であると・位置付け	不可欠であるとの位置付け	文字抜け
109	表中クラウドシステム概要	スマートホン	スマートフォン	
	表中下から2段目	PTK-GNSS PTK(Real··)	RTK-GNSS RTK(Real··)	
111	図中	DGPS(1mm～5m)	DGPS(1cm～5m)	
114	右タイトル	バックホーショベル	バックハウショベル	
119	本文下から2行目	スマートホン	スマートフォン	

	右図	図2・3	図2・3	1文字削除
120	表の注)	スマートホン ジャ・ロセンサ	スマートフォン ジャイロセンサ	
122	表中 位置 の項目	車娘番号	車両番号	
	本文左3行目	場合等の場合	場合、	重複文字削除
	右(7)タイトル	意見調査査	意見調査	重複文字削除
	右最下段	表2・3・示す。	表2・3に示す。	
123	表2・3中ねじり骨材飛散値	ロスアンゼルス試験機	ねじり骨材飛散試験機	
	表2・3中滑り抵抗値	…レジスタンスメータ	…レジスタンステスト	
	コンクリート舗装の調査項目	表2・4・示す。	表2・4に示す。	文字抜け
	表2・4中2行目	表2・1に同じ。	表2・3に同じ。	
125	右4行目	ヘアークラック	ヘアークラック	
	右7行目	(2-2 調査結果の評価 参照)	(2章2 舗装破損の評価 参照)	
128	左7行目	盛り上がり方をで、こぶともいう	盛り上がり方をこぶともいう	
	右1行目	タイヤチェーンの使用	タイヤチェーンの使用	
129	図2・15中	ブリガスリング	ブリスタリング	
130	表中 ひび割れ	線状(温度)ひびわれ(縦方向)	線状(温度)ひびわれ(横方向)	
	構造物周辺のひびわれ	地盤の不当沈下	地盤の不等沈下	
	最下段 噴泥	ポッピング作用	ポンピング作用	
131	破損の種類欄	騒音値の低下	騒音値の増加	
	主な原因欄 2段目	目地構造・昨日の不完全	目地構造・機能の不完全	
	段差欄	ダウエルパー・ダイバー	ダウエルパー・タイバー	
		機能の不完全・ポンピング	機能の不完全、ポンピング	
	下から6段目 主な原因欄	目地構造・	目地構造・機能の不全	
	下から5段目 主な原因欄	締め固め不足	締固め不足	1文字削除
	最下段 主な原因欄	ポッピング作用	ポンピング作用	
137	右下から2行目	かなり曖昧でるので	かなり曖昧であるので	文字抜け
138	左 本文3行目	工法も大きく替わる	工法も大きく変わる	
139	右下から2行目	表2・12に	表2・13に	
141	表2・15 内容差し替え	わだち掘れ深さ(mm)	ひび割れ度(cm/m <sup>2</sup> )	
	内容差し替え 数値欄 左から	20程度以下 20~35程度 35以上	30程度以下 30~50程度 50程度以上	
	下から3行目	目地剤のはみ出し	目地材のはみ出し	
142	表2・18タイトル中	(目地剤のはみ出し、	(目地材のはみ出し、	
	表2・18タイトル中	目安 <sup>5)</sup>	目安 <sup>2)</sup>	
	表中区分M	全体の50%未以上	全体の50%以上	1文字削除
	同 注1、注2	L,M,H	L,M	1文字削除
144	表 下段 注の説明 中程度	ほぼ完全な…	ほぼ完全な…(おおむねひび割れ率が15%~35%のもの)	追加
145	右本文1行目	コンクリ・ト	コンクリート	

148	8) 路上表層再生工法 説明文差し替え	表層・基層……	路上表層再生工法は、路面性状や既設表層混合物の品質の改善を目的として、現位置において既設加熱アスファルト混合物層の、加熱、かきほぐし、混合(攪拌)、敷きならし、締固め等の作業を連続的に行い、新しい表層として再生する工法である。	この項、全文入れ替え
152	付録1 表中 ③	細粒度ギャップアスファルト混合物	細粒度アスファルト混合物	”ギャップ” 削除
153	タイトル 付録表	付録表1マーシャル…基準値	付録表2コンクリート舗装の構造設計例	
154	表最下段 密度 単位	(g/cm <sup>3</sup> )	(g/m <sup>3</sup> )	
155	表4-2 石灰安定処理	修正CBR 15以上	修正CBR 10以上	
157	表 種別 横タイトル	タイトル欄 空欄	ポリマー改質アスファルト	タイトル追加
159	表8中1行目⑨	細粒度	開粒度	
164	図 DGPS 測位精度	DGPS(1mm~5m)	DGPS(1cm~5m)	
	本文最下段文章追加	ネットワーク型ではGPS・	ネットワーク型ではGPSのみの観測となる。	
165	表中 くぼみ	パッチング、」局部打換え	パッチング、局部打換え	1文字削除
168	INDEX 下から10行目	曲線半径……60	曲率半径……83,145	